

<b>施策10</b>	<b>魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成</b>	主管部長(課)	地域振興部長(経済課)
		関係部長(課)	

## 1 施策目標

区内中小企業では、多様な人材がやりがいを持って生き生きと働いており、経営力や競争力を培うことで区内の産業が活性化しています。また、地域の拠りどころとして区民生活の根幹を支え、地域コミュニティの核となる魅力ある商店街が形成されています。										
<b>施策実現に関する指標(代表指標)</b>										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合		%	45.9	42.3	43.1	43.7	46.4		60	経済課
指標選定理由		区の産業・商業振興策の効果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、指標値は令和2年度に大きく後退したが、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行したことによる行動制限の解除や、物価高騰等の対策として実施した地域経済振興、消費喚起施策の展開等により、コロナ禍前の水準に回復している。								
	3 (概ね順調)									
<b>施策コストの状況</b>										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		3,563,986千円	1,961,202千円	2,565,525千円	3,215,530千円					
事業費		3,393,488千円	1,812,020千円	2,385,289千円	3,020,813千円					
人件費		170,498千円	149,182千円	180,236千円	194,717千円					
<b>《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)</b>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全国におけるエネルギー価格・物価高騰等に伴う原材料費価格等の上昇は、中小事業者の収益に多大な影響を与えている。</li> <li>◆生産年齢人口の減少や経営者の高齢化等による、人手不足や事業承継が課題となっている。</li> <li>◆国は、「経済財政運営と改革の基本方針2023」を定め、GX、DX、人手不足等の事業環境変化への対応や事業再構築・生産性向上の支援、取引適正化など、中堅・中小企業の活力向上を推進している。</li> <li>◆国は、スタートアップ企業の育成・支援を通じて、日本経済の成長を促進することを目的とした、スタートアップ育成5か年計画を推進している。</li> </ul>										

## 2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

<b>取組方針1</b>	<b>経営力・競争力の強化</b>
主な取組	経営の強化・改善への支援
取組内容	◆区内中小企業の経営基盤強化のため、特別資金融資や新設した支援資金融資等のあっせん、専門家による経営相談を実施する。また、経営改善や販路拡大のため、各種補助制度の拡充・活用支援等に取り組む。
主な実施事業	江東ブランド推進事業、販路開拓支援事業、中小企業融資事業、経営相談事業
<b>取組方針2</b>	<b>人材の確保・育成と事業承継</b>
主な取組	こうとう若者・女性しごとセンターにおける雇用・人材確保支援
取組内容	◆センター利用者や求人企業、雇用・就業決定者等の増加につなげるため、センターのPR活動を強化する。また、センター利用の就業者に対するアフターフォローを実施するなど、中小企業の人材定着支援に取り組む。6年度よりセミナーの開催、専門家派遣、補助金の支給、相談、支援資金融資のあっせんにより事業承継の支援を行う。
主な実施事業	中小企業雇用支援事業、産業表彰事業
<b>取組方針3</b>	<b>創業への支援</b>
主な取組	創業支援事務所等家賃補助、創業支援等事業
取組内容	◆創業支援等事業計画に基づく、経営相談事業における専門家による個別支援のほか、各種セミナーの開催や創業後の経営安定に向けた資金融資への利子補助、家賃補助等による支援に取り組む。さらに、6年度より創業支援資金の対象を創業後1年未満から創業後5年未満に拡充し、創業者の安定的な事業運営の支援を行う。
主な実施事業	創業支援資金融資事業、創業支援事業
<b>取組方針4</b>	<b>地域に根ざした商店街の振興</b>
主な取組	地域経済の活性化に向けた、商店街及び個店への支援
取組内容	◆物価高騰の影響を受ける商店街を中心とする店舗や家計を応援するため、昨年度に引き続きプレミアム率・発行規模を拡充した区内共通商品券を紙とデジタルの二方式で発行。購買機会を創出するとともに、デジタル商品券の活用により、キャッシュレス決済の利用促進に取り組む。
主な実施事業	商店街連合会支援事業、江東お店の魅力発掘発信事業

### 3 取組方針の実施状況

取組方針1	経営力・競争力の強化	主管部長(課)	地域振興部長(経済課)							
		関係部長(課)								
<p>臨海部等の新たなまちの形成や都心隣接の地の利を活かし、急速に変化する社会経済情勢に対応できるよう、経営相談や産業情報の提供を行います。また、地域ものづくり企業のブランディング、制度融資や各種補助金交付を通じて、区内中小企業の経営基盤の強化や販路の拡大、海外へ向けた発信、ICT、AI、ロボットなどの先進技術を活用した事業の生産性向上を支援します。さらに、区、中小企業者、関係団体、金融機関、大学等と連携を促進し、新技術・新製品開発や新たなビジネス機会の創出への取り組みを進めていきます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
各種助成事業における助成件数		件	155 (30年度)	102	122	185	218		180	経済課
指標選定理由		区内中小企業支援施策の推進を示す指標であるため								
分析	達成度	◆社会経済活動の段階的な再開により、販路拡大等に関連する補助金の種類と件数が増加しているほか、創業に関わる補助金の実績が増加傾向である。								
	5 (達成)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		2,455,139千円	1,025,334千円	1,405,810千円		1,954,926千円				
事業費		2,355,481千円	938,276千円	1,297,792千円		1,832,968千円				
人件費		99,658千円	87,058千円	108,018千円		121,958千円				
成果と課題										
<p>◆景気は緩やかに回復しており、ホームページ作成費補助や創業支援事務所等賃料補助の件数が増加したほか、ICT等導入支援補助金は、事業の効率化や販路拡大としての需要が高く、助成件数は4年度に引き続き6年度の目標値を上回った。</p> <p>◆エネルギー・物価高騰等による経営環境への影響が大きいため、今年度はエネルギー価格高騰対策として補助金の支給を行う。また、これらの影響は区施策のみでの解決は困難であり、国や都の対策も含め、総合的な対応が必要である。このため、区の経営相談や国および都の関連施策に関するお知らせの送付や、区報・区ホームページのほか、令和5年度より、メールマガジンの活用によるプッシュ型での情報発信や周知に取り組んでいる。</p>										

取組方針2	人材の確保・育成と事業承継	主管部長(課)	地域振興部長(経済課)							
		関係部長(課)								
<p>人材不足・後継者不足に対応できるよう、職業のマッチング等による人材確保の支援や多様な働き方が可能な職場環境の整備を支援するとともに、階層別セミナーの実施等により、人材の育成や定着率の向上を図ります。また、関係機関との連携により区内中小企業の事業承継を支援します。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
こうとう若者・女性しごとセンターの利用者で就職が決定した人数		人	556 (30年度)	542	476	570	544		750	経済課
指標選定理由		区内中小企業の人材確保への支援体制の活動量を示す指標であるため								
分析	達成度	◆働き方の多様化や、様々な求人媒体の出現により、こうとう若者・女性しごとセンターの利用につながりにくくなっており、指標値はコロナ禍前の水準と同程度に留まっている。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		178,149千円	170,134千円	183,873千円		208,231千円				
事業費		160,439千円	154,603千円	164,471千円		189,900千円				
人件費		17,710千円	15,531千円	19,402千円		18,331千円				
成果と課題										
<p>◆区内商業施設等を活用した出展や、SNSを活用した情報発信の強化等により、新規登録者数は1,229人に増加した(対前年度比約8%増)。</p> <p>◆引き続きエネルギー価格・物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要があるため、こうとう若者・女性しごとセンターにおける就労支援や区内中小企業の人手不足解消のための継続した取り組みが求められている。</p> <p>◆6年度より後継者不足への対応のため、後継者育成支援事業を開始する。</p>										

取組方針3	創業への支援	主管部長(課)	地域振興部長(経済課)							
		関係部長(課)								
<p>「江東区創業支援等事業計画」を軸に、関係機関との連携により制度融資、相談、セミナー、助成、空き店舗等を活用したワーキングスペースの設置への支援、起業家同士の交流会の実施など、きめ細かい創業支援を実施し、区内での創業を促進します。また、創業後においても支援を継続し、企業の持続的な成長を図ります。</p>										
指標										
	指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
	創業支援資金の融資申込みをした事業者数	事業者	39 (30年度)	44	93	88	75		60	経済課
	指標選定理由	区内における創業への支援体制の活動量を示す指標であるため								
分析	達成度	◆創業ニーズの高まりに対応するため、令和4年度より相談予約システムの導入や相談員体制の拡充を図っている。								
	5 (達成)									
取組コストの状況										
	種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
	トータルコスト	61,301千円	37,263千円	108,712千円	72,615千円					
	事業費	49,494千円	26,909千円	101,167千円	63,475千円					
	人件費	11,807千円	10,354千円	7,545千円	9,140千円					
成果と課題										
<p>◆「特定創業支援等事業による支援を受けたことの証明書」の取得希望者の増加に伴い、令和5年度より、これまでの個別講習方式から集合研修方式を新たに設け、証明書取得希望者への支援体制の強化を図っている。</p> <p>◆創業段階の支援策の着実な実施のほか、創業後の事業経営を安定させるため、令和6年度より創業支援資金について創業後1年以上5年未満を対象に加え支援体制の拡充を図る。</p> <p>◆令和6年度より家賃補助の補助対象件数の拡充を図る。</p>										

取組方針4	地域に根ざした商店街の振興	主管部長(課)	地域振興部長(経済課)							
		関係部長(課)								
<p>区内にある魅力的な商店街を守るため、地域に根ざした商店街が主体となって実施する環境整備やイベント等の販売促進、地域団体との協働事業への支援を行います。また、若手の育成や、それぞれの特性やニーズに対応した商店街づくりを支援し、地域住民はもとより国内外からの来街者も楽しんで快適に買物ができる商店街を目指します。さらに、個店の魅力も積極的に発信するとともに、個店や個店同士の連携による、集客力の向上に資する意欲とアイデアあふれる取り組みに対する支援を行うことで、商店街の枠を越えた人材交流の促進により地域を活性化していきます。</p>										
指標										
	指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合	%	59.3	60.2	61.0	62.1	58.5		70	経済課
	指標選定理由	商店街活性化に向けた区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆店舗の営業が日常を取り戻す中、物価高騰の影響が指標を左右していると思われる。補助事業を含めた事業全体を通じて魅力の向上を図っていく。								
	*									
取組コストの状況										
	種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
	トータルコスト	869,397千円	728,471千円	867,130千円	979,758千円					
	事業費	828,074千円	692,232千円	821,859千円	934,470千円					
	人件費	41,323千円	36,239千円	45,271千円	45,288千円					
成果と課題										
<p>◆物価高騰に対応した施策の一つである商品券事業に新たにデジタル方式を導入し、商店街各店舗のレジ作業の効率化や、新規顧客の開拓、売上げ増を図り、地域経済の活性化につなげることができた。</p> <p>◆個店向けの補助金の活用により商店街への出店を促すとともに、ことみせ事業を通じ、デジタルの活用を図る講座を開催するなど、個店自らが集客に資する取り組みを実施できるよう今後も支援を継続していく。</p>										

#### 4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各指標値は概ね順調に推移している。</li> <li>◆エネルギー価格や物価高騰の影響を特に受けた事業者に対する緊急的支援等、機動的な対応を図った。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新型コロナウイルス感染症後も続く経営環境の悪化に対して、低利子又は無利子の融資斡旋、補助金等による支援に取り組む。</li> <li>◆エネルギー価格・物価高騰について区内事業者全体に影響が及んでいることから、更なる対応を図っていく。</li> <li>◆プレミアム付区内共通商品券の発行を通じた商店街支援のほか、空き店舗対策等、商店街の活性化に向けた取り組みを推進していく。</li> <li>◆複雑化する企業経営に対応するため、各種専門家の連携による相談支援体制の構築に取り組む。</li> <li>◆創業希望者・創業者への切れ目のない支援メニュー、支援体制の構築に取り組む。</li> <li>◆多岐にわたる事業承継支援策により区内事業者への事業承継の早期検討・着手を促していく。</li> </ul>

#### 5 二次評価《区の最終評価》 ※5年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆指標については現状値から低下している指標もあるが、施策全体としては近年順調に推移しており、施策の進捗状況は概ね順調であると言える。</li> <li>◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</li> </ul>
<p>実現に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>こうとう若者・女性しごとセンター</b>の情報を積極的に発信し、認知度を向上させることで、若年層や女性への就労支援強化するとともに、区内中小企業の人手不足解消推進を図る。</li> <li>◆区内産業のブランド構築などを発展的に展開させるため、各企業におけるICTの強化を図り、ハード・ソフト両面からの支援を行う。</li> <li>◆引き続き、原油価格・物価高騰に対する効果的な事業展開を図るとともに、ニーズに合った支援になるよう継続的に見直しを行い、中小企業、商店街を支援していく。</li> <li>◆区民、事業主、事業主以外の民間、区など総合的な協働により、魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成につながる取り組みを検討する。</li> <li>◆産業会館等の地域経済振興関連施設について、産業振興の拠点となるような機能の見直し等を検討する。</li> </ul>

<b>施策11</b>	<b>人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化</b>	主管部長(課)	地域振興部長(地域振興課)
		関係部長(課)	政策経営部長(広報広聴課)、区民部長(区民課)

## 1 施策目標

<b>江東区の目指す姿</b>									
地域のつながりが深まり、世代や国籍を問わない誰もが参加しやすい魅力的な活動が充実する、明るく住みよい地域社会が実現されています。									
<b>施策実現に関する指標(代表指標)</b>									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
この1年間に地域活動に参加した区民の割合	%	20.8	13.4	12.8	14.7	19.5		26	地域振興課
指標選定理由	地域コミュニティ活動の活性化を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆「まったく参加したことはない」が約6割を占めることから、地域活動の重要性を周知するとともに、気軽に参加できるような工夫が必要である。							
	*								
<b>施策コストの状況</b>									
種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト	1,042,019千円	873,954千円	919,070千円	960,502千円					
事業費	851,483千円	707,336千円	701,271千円	741,245千円					
人件費	190,536千円	166,618千円	217,799千円	219,257千円					
<b>《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)</b>									
◆長引くコロナ禍によって、町会・自治会等の地域活動は中止や自粛が続いていたが、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行されたことにより、徐々に地域活動が再開されつつある。									

## 2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

<b>取組方針1</b>	<b>多様なコミュニティ活動への参加の促進</b>
主な取組	地域活動の支援
取組内容	◆町会・自治会が主催する事業の経費を一部補助し、地域コミュニティの活性化及び地域住民の交流を支援する。 ◆地域活動団体への支援を目的とした中間支援組織において、情報発信や団体同士の交流機会の創出、セミナーによる協働意識啓発等を行うほか、地域活動団体の取り組みに対するアドバイス等を含む新たな支援策を実施する。
主な実施事業	町会自治会活動事業、コミュニティ活動支援事業
<b>取組方針2</b>	<b>コミュニティ活動を支える環境整備</b>
主な取組	公的施設の利用促進、維持管理
取組内容	◆各施設の改修工事等を計画的に実施する。
主な実施事業	地区集会所改修事業
<b>取組方針3</b>	<b>地域・世代・国籍を超えた交流・共生の推進</b>
主な取組	地域イベントの実施
取組内容	◆地域イベントの円滑かつ確実な実施を支援する。また、各イベントを通じて多世代住民や外国人との交流の場を創出する。
主な実施事業	区民まつり事業、江東花火大会事業、姉妹都市・区内在住外国人交流事業

### 3 取組方針の実施状況

取組方針1	多様なコミュニティ活動への参加の促進	主管部長(課)	地域振興部長(地域振興課)						
		関係部長(課)							
<p>町会・自治会、NPO、ボランティア団体等の主体性を尊重しながら、自主的な地域活動を推進していくための支援を行います。また、各コミュニティ活動に関する情報の発信・共有を図り、より多くの区民がコミュニティ活動に関心を持ち、地域への愛着、絆を深め気軽に参加できるようコミュニティ活動支援サイト等の充実に努めるとともに、子ども会やPTA など関係団体とも連携して地域コミュニティの担い手の養成にもつなげていきます。さらに、新たに転入してきた住民が、町会・自治会等に加入するきっかけとなる情報提供などを行い、地域活動に参加する区民を増やします。</p>									
指標									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
町会・自治会加入世帯数	世帯	158,096 (30年度)	157,426	157,444	156,206	157,719		168,400	地域振興課
指標選定理由	自主的な地域活動への支援状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆核家族化の進行や価値観の多様化、人口の流出入などから、加入世帯数が低下傾向にある。							
	*								
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
町会・自治会加入率	%	58.9 (30年度)	57.0	56.6	54.6	54.1		60	地域振興課
指標選定理由	自主的な地域活動への支援状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆加入世帯数が減少傾向にあることに加え、大規模マンション開発を主とする総世帯数の増加が分母を大きくし、加入率が低下している。							
	*								
取組コストの状況									
種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト	298,245千円	215,162千円	281,480千円	322,559千円					
事業費	235,277千円	159,940千円	209,263千円	249,235千円					
人件費	62,968千円	55,222千円	72,217千円	73,324千円					
成果と課題									
<p>◆区公式ホームページで運用している、町会・自治会への問い合わせ・加入申し込みフォームには、5年度には1,300件程度のアクセス、43件の加入問い合わせがあった。</p> <p>◆町会・自治会への加入促進については、区内不動産団体との協定に基づく、契約時における町会・自治会への加入勧奨のほか、町会・自治会が活用可能な加入促進リーフレットの配布、区広報板へのポスター掲示、区報及び区SNSによる情報発信により着実に実施していく。</p> <p>◆5年度に設置した「ボランティア・地域貢献活動センター」と連携し、NPO、ボランティア団体等の活動の活性化や団体育成の支援を強化するとともに、区民のコミュニティ活動に対する関心を高めるための取り組みを引き続き実施していく。</p>									

取組方針2	コミュニティ活動を支える環境整備	主管部長(課)	地域振興部長(地域振興課)						
		関係部長(課)	区民部長(区民課)						
<p>コミュニティ活動の拠点となる公的施設の利用を促進するとともに、適切な維持管理を行い、区民が集い、安心して活動できる場を確保します。また、区民館や地区集会所等の効率的な運営を図るため、地域ニーズに沿った情報発信を進めるなど、利用・運用面での環境整備を行います。</p>									
指標									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合	%	38.7	35.8	38.9	39.3	37.8		45	地域振興課
指標選定理由	区民館や地区集会所等の地域活動施設の認知度を客観的に測る指標であるため								
分析	達成度	◆区内には、身近に利用できる区民館や地区集会所等の施設を整備しているが、アンケートでは、「わからない」との回答が31.4%となっていることから、引き続き施設の情報発信を強化していく。							
	*	◆身近にある区民館や地区集会所等の認知度が横ばい状態となっている。							
取組コストの状況									
種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト	429,136千円	370,776千円	348,395千円	322,840千円					
事業費	340,477千円	293,448千円	255,070千円	239,962千円					
人件費	88,659千円	77,328千円	93,325千円	82,878千円					
成果と課題									
<p>◆各施設の改修工事等を計画的に実施することにより、改修後は、利便性の向上等もあり利用率は向上している。今後も、コミュニティ活動の場となるよう適切な維持管理に努める。</p> <p>◆区民館については、2年度にリニューアルした区民館周知用リーフレットを配置するほか、地区集会所についても、近隣区内施設を通じた周知により一層の利用促進を図る。</p> <p>◆身近な地域活動を活性化するため、地区集会所について、介護予防や見守り活動など、地域の課題に応じた活用方法を周知していく。</p>									

取組方針3	地域・世代・国籍を超えた交流・共生の推進	主管部長(課)	地域振興部長(地域振興課)							
		関係部長(課)	政策経営部長(広報広聴課)							
<p>区民まつりをはじめとした地域イベントを様々な工夫を凝らし、継続的に開催することで、多世代住民の交流、地域を超えた交流の場を提供します。また、外国人と日本人との文化交流が自然と図られ相互理解が得られるよう、区内在住外国人が運営する団体や外国人向けボランティア活動をする団体を中心として活動する「江東区国際友好連絡会」といった関係団体と連携した国際交流イベント等を実施します。さらに、国籍にかかわらず自分らしく暮らせるよう、区内在住外国人への生活情報の提供や相談対応など庁内で連携を図り、多文化共生社会を目指します。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
地域イベントへの参加者数(区民まつり、各地区まつり、江東花火大会、国際交流のつどい)		千人	936 (30年度)	未実施	未実施	201	265		1,100	地域振興課
指標選定理由		多世代住民の交流、地域を超えた交流の場が提供されているかを示す指標であるため								
分析	達成度	◆コロナ禍の収束に伴う、地域イベントの再開により、イベント参加者総数は増加傾向となっている。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		314,638千円	288,016千円	289,195千円	315,103千円					
事業費		275,729千円	253,948千円	236,938千円	252,048千円					
人件費		38,909千円	34,068千円	52,257千円	63,055千円					
成果と課題										
<p>◆コロナ禍後のイベント再開を契機に、来場者の動線や緊急通路の確保等の大幅な見直しにより、幅広い世代が、安全・安心に参加できる対策を講じた。</p> <p>◆引き続き安全対策を講じたうえで、トレンドやニーズを踏まえた企画等を検討し、多世代住民の交流を活性化していく。</p> <p>◆在住外国人に対する「伝わる」手段の一つとして、職員向けの「やさしい日本語」の研修を新たに開始し、区内在住外国人に対する行政サービス向上の取り組みを強化した。</p> <p>◆多国籍化による対応として、「やさしい日本語」の効果検証・普及を図り、全庁的に在住外国人への支援に取り組む必要がある。</p> <p>◆区内在住外国人への支援の一環として通訳者(中国語)による日常生活における相談を実施しており、庁内連携によるサポートを行う。</p> <p>◆多文化共生社会の実現に向けた国や都、他の自治体の取り組み・実施状況等の調査研究に努める。</p>										

#### 4 一次評価《主管部長による評価》

総評	<p>◆コロナ禍収束に伴う地域活動の再開により、代表指標はコロナ禍前に回復しつつあるものの、他の指標は横ばい又は下落しており、コロナ禍後の社会環境変容への対応が求められている。</p> <p>◆在住外国人の増加・多国籍化が進行しており、在住外国人に対する支援及び多文化共生の周知・啓発の必要性が高まってきている。</p>
今後の方向性	<p>◆地域コミュニティの活動を支える町会・自治会の高齢化・なり手不足への効果的な支援や、地域課題解決に向けた自主的な地域活動を行う団体や個人への支援強化に取り組む。</p> <p>◆新たな在住外国人が日本社会に適応するため支援策の拡充を図るとともに、在住日本人区民との交流・共生機会の創出に取り組む。</p>

#### 5 二次評価《区の最終評価》 ※5年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	<p>◆指標については、イベント開催等がコロナ禍前と同程度に実施されているものの、計画策定時の現状値から低下している。</p> <p>◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
実現に向けた取り組み	<p>◆地域コミュニティの意義、あるべき姿を再確認した上で、地域コミュニティの必要性についてより広く区民に伝えるよう努める。</p> <p>◆現在の町会・自治会の活性化をサポートし、従来の仕組みの改善と新たな取り組みを検討し、町会・自治会の加入促進につなげていくとともに、地域の新しいつながりの形についても検討していく。</p> <p>◆多文化共生社会を推進するため、令和5年3月に策定した「江東区多文化共生推進計画」に基づき、事業展開するとともに、地域イベント開催の手法を検討し、参加者を増やしていく。</p>

<b>施策12</b>	<b>多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現</b>	主管部長(課)	総務部長(人権推進課)
		関係部長(課)	生活支援部長(生活応援課)

## 1 施策目標

<b>江東区の目指す姿</b>									
全ての区民がお互いの人権を尊重し、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、自分らしく生きることができる社会を実現しています。									
<b>施策実現に関する指標(代表指標)</b>									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
「江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちである」と思う区民の割合	%	46.3	41.8	39.1	42.2	40.3		80	人権推進課
<b>指標選定理由</b>	多様性を認め合う社会の実現に向けた区の取り組みを客観的に示す指標であるため								
<b>分析</b>	<b>達成度</b>	◆5年度の指標値は前年度から1.9ポイント減少し、目標値からは大きく乖離しているため、引き続き人権尊重の理念に対する理解を深める啓発を推進していく必要がある。							
	*								
<b>施策コストの状況</b>									
種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト	284,359千円	257,801千円	311,070千円	358,114千円					
事業費	182,975千円	169,525千円	201,554千円	220,182千円					
人件費	101,384千円	88,276千円	109,516千円	137,932千円					
<b>《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)</b>									
◆世界経済フォーラムが毎年公表する、世界各国における男女間の格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数」の日本の順位は下位にあり、特に政治分野及び経済分野において男女間の格差が大きい状況にある。									
◆東京都では、「東京都人権施策推進指針」(平成12年策定、平成27年改正)及び「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」(平成31年施行、令和4年一部改正)に基づき施策を総合的に推進している。									
◆令和4年に内閣府が実施した「人権擁護に関する世論調査」では、「日本における人権問題で関心のあること」についての回答は「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害」が最も多い結果となった。									

## 2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

<b>取組方針1</b>	<b>人権と多様性を尊重する意識の醸成</b>
<b>主な取組</b>	人権尊重の理念を広く社会に浸透させるための学習講座、講演会等の開催
<b>取組内容</b>	◆社会状況に応じた人権課題について、人権学習講座を開催している。また、人権週間行事(講演会等)、人権啓発パネル展及び北朝鮮当局による拉致問題パネル展等を実施し、人権啓発に努めている。
<b>主な実施事業</b>	人権学習事業、人権推進事業
<b>取組方針2</b>	<b>男女共同参画の推進</b>
<b>主な取組</b>	男女共同参画行動計画に基づき、区民や企業への啓発や学習事業の実施
<b>取組内容</b>	◆固定的役割分担意識の払拭に向けて、啓発紙の発行を含むあらゆる媒体を利用した啓発事業の実施や、区民や企業を対象とした学習事業を実施している。
<b>主な実施事業</b>	男女共同参画啓発事業、男女共同参画学習事業、男女共同参画審議会運営事業
<b>取組方針3</b>	<b>ワーク・ライフ・バランスの推進</b>
<b>主な取組</b>	仕事と生活の調和がとれた生き方を推進するための、区民や企業への啓発や学習事業の実施
<b>取組内容</b>	◆仕事と家庭の両立支援や男女がともに働きやすい職場づくりなど、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、区民と事業所等に対して情報提供や学習講座を実施し、啓発を進めている。
<b>主な実施事業</b>	ワーク・ライフ・バランス推進啓発事業
<b>取組方針4</b>	<b>異性に対するあらゆる暴力の根絶</b>
<b>主な取組</b>	暴力の根絶のための啓発、及び、配偶者等からの暴力の被害者等に対する相談支援事業の実施
<b>取組内容</b>	◆関係機関とのネットワーク構築に努めるとともに、あらゆる媒体を活用した啓発に取り組んでいる。また、配偶者等からの暴力の被害者等に対する相談事業を実施している。
<b>主な実施事業</b>	男女共同参画相談事業

### 3 取組方針の実施状況

取組方針1	人権と多様性を尊重する意識の醸成	主管部長(課)	総務部長(人権推進課)							
		関係部長(課)								
<p>年齢、性別、国籍、障害の有無、価値観、生き方などによるあらゆる偏見や差別をなくし、多様性を認め合い、全ての人が尊重されるダイバーシティ社会を実現するため、地域、団体・企業が行う人権推進の取り組みに対し、支援をしていきます。また、LGBT など性的少数者や外国人等が対象となる新たな人権課題に対し、人権相談を通じて救済につなげるとともに、講座・キャンペーン、職員の意識改革などの人権啓発を着実かつ継続的に実施します。さらに、人権意識をライフステージの早期から醸成するため、学校教育とも連携しながら小中学校における多様性を認め合う教育を進めます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
「江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちである」と思う区民の割合(再掲)		%	46.3	41.8	39.1	42.2	40.3		80	人権推進課
指標選定理由		(代表指標に記載)								
分析	達成度	(代表指標に記載)								
	代表指標に記載									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		39,401千円	34,160千円	42,389千円	37,309千円					
事業費		12,473千円	10,390千円	12,935千円	14,151千円					
人件費		26,928千円	23,770千円	29,454千円	23,158千円					
成果と課題										
<p>◆人権学習講座の一部について、事前撮影した動画を区公式YouTubeチャンネルで配信する方式とし、時間や場所を選ばず誰もが気軽に受講(視聴)できる機会を増やしている。ICTを活用した取り組みの充実と利用促進に向けた周知活動の展開を図っていく。</p> <p>◆人権週間行事では、講演会のほか、中学生による人権作文の発表や小学生による人権メッセージの発表を実施し、学校教育と連携しながら子どもたちの人権教育を進めている。</p> <p>◆人権週間(12月4日～10日)と北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10日～16日)を通して「人権啓発」及び「拉致問題」パネル展を同時開催し、多くの区民の目に触れるよう工夫した。6年度は年度前半にもパネル展の同時開催を実施し、更なる啓発を進めていく。</p> <p>◆性別等にかかわらず、性の多様性が尊重され、価値観や生き方の違いなど様々な違いに理解のある社会を促進し、誰もが暮らしやすい環境づくりに向けた取組の検討を進める。</p>										

取組方針2	男女共同参画の推進	主管部長(課)	総務部長(人権推進課)							
		関係部長(課)								
<p>性別による固定的役割分担意識が解消され、性別にかかわらず全ての区民があらゆる分野で活躍するとともに、家庭、個人の生活を充実していけるよう、最先端のICT 技術を活用し、啓発活動や支援を行います。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
区の審議会等への女性の参画率		%	29.8 (30年度)	29.8	30.0	31.3	31.0		40	人権推進課
指標選定理由		女性が意志決定過程に参画し、男女が均等に個性と能力を十分に発揮できているか示す指標であるため								
分析	達成度	◆5年度は女性の参画率が31.0%と、5年度の31.3%と比べ0.3ポイント減少した。今後も関係機関へ女性参画を促す働きかけを行い、委員公募の際にも男女比に留意するなどの改善に努める。								
	3 (概ね順調)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		206,234千円	187,391千円	228,748千円	271,101千円					
事業費		137,164千円	127,639千円	154,577千円	173,580千円					
人件費		69,070千円	59,752千円	74,171千円	97,521千円					
成果と課題										
<p>◆各審議会等において、委員の要件の緩和を推進したことにより、女性の参画率は基準年度である元年度からわずかに向上している。一層の女性の参画に向けて、関係部署に対し、男女共同参画の推進を周知啓発し、働きかけを行う。</p>										

取組方針3	ワーク・ライフ・バランスの推進	主管部長(課)	総務部長(人権推進課)						
		関係部長(課)							
性別・年齢にかかわらず誰もが意欲・能力・状況に応じたワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を図ることができるよう、区民と事業所等に対し情報提供や学習講座を開催し啓発を進めていきます。									
指標									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
「仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することが出来ている」と答えた区民の割合	%	53.4	53.3	53.5	53.8	52.0		80	人権推進課
指標選定理由	ワーク・ライフ・バランスが実現が図られているかを客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆元年度以降、働き方改革関連法が順次施行されたことにより、仕事と生活の調和に対する意識が高まっているものの、目標値からは大きく下回っている。ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、引き続き個人、事業者双方を対象に、講座等を通じ、固定的性別役割分担意識の払拭を図る必要がある。							
	*								
取組コストの状況									
種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト	3,792千円	3,401千円	4,194千円	4,772千円					
事業費	374千円	373千円	459千円	459千円					
人件費	3,418千円	3,028千円	3,735千円	4,313千円					
成果と課題									
◆5年度は、中小企業情報誌を送付する際、「講座募集チラシ」を同封した。 ◆5年度は、企業向けに4つの学習講座(仕事と人生の時間管理術、職場のハラスメント防止、LGBT等に関する企業の取組み、男性育休の取得促進)を実施した。 ◆ワーク・ライフ・バランスの中でも、特に男性が育児や家事に主体的に関わることへの理解、企業の取組みが課題となっている。そのため、学習講座や広報紙等を通じての情報提供、啓発を強化し、理解促進につなげていく。									

取組方針4	異性に対するあらゆる暴力の根絶	主管部長(課)	生活支援部長(生活応援課)						
		関係部長(課)							
DVを防止するため、インターネット等あらゆる媒体の活用により、暴力を容認しない意識形成の啓発に取り組んでいきます。また、配偶者等からの暴力の被害者保護のため、被害者等に対する相談支援事業を実施します。									
指標									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
DV相談窓口を知っている区民の割合	%	28.3	29.2	30.1	32.2	31.5		70	生活応援課
指標選定理由	相談窓口啓発の成果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆わずかに増加傾向にあるが、依然として目標値から大きく乖離している現状である。引き続き関係機関にポスター掲出や周知用カードの設置依頼、パネル展の開催等の周知啓発を行い、多くの区民が知っている窓口となるよう努める。							
	2 (やや停滞)								
取組コストの状況									
種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト	34,932千円	32,849千円	35,739千円	44,932千円					
事業費	32,964千円	31,123千円	33,583千円	31,992千円					
人件費	1,968千円	1,726千円	2,156千円	12,940千円					
成果と課題									
◆養育支援課や警察署等との連携強化により、きめ細かな相談体制が整備されつつあるものの、未だ周りに相談できずDV被害を受け続け深刻化している対象者がいる。このような潜在的な被害者が一人で抱え込まず誰かに相談できるよう、引き続き相談窓口の周知率を高める取り組みを継続するとともに、DV被害を容認しない意識啓発に取り組む必要がある。 ◆5年度は、DV防止の啓発として、パネル展を区内の商業施設で開催した他、区報1面への掲載や図書館における特設展示コーナーの設置など、啓発事業の拡充を図った。また、相談窓口周知用ポスターの広報板掲示や区民まつりにおいてチラシを配布し、相談窓口の周知に取り組んでいる。									

#### 4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<p>◆代表指標の数値が、目標値に達していないことに加え、基準年度である元年度から減少している指標がある。目標値を達成するためには、各取組方針において、多様な媒体を積極的に活用することで、区民への理解促進を図る必要がある。パルカレッジ修了生や人権団体等と連携するなど、推進活動の活性化を図る必要がある。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>◆人権尊重の意識を高めていくため、継続的に実施している事業を推進するだけでなく、あらゆる機会を捉えた人権意識の啓発に努めるとともに、ICTの活用を推進、区民・人権団体等の連携強化など、より一層取り組みの充実を図っていく。 ◆「第7次江東区男女共同参画行動計画」に基づき、多様性を認め合う社会の実現を目指し、積極的に取り組みを進めていく。</p>

#### 5 二次評価《区の最終評価》 ※3年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<p>◆指標については、計画策定時の現状値から低下している。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
<p>実現に向けた取り組み</p>	<p>◆性の多様性が尊重され、価値観や生き方の違いなど様々な違いに理解のある社会を促進し、誰もが暮らしやすい環境づくりに向けた取組の検討を進める。</p> <p>◆子どもに対する人権教育については教育委員会等関係部署と連携を強化するとともに、<b>学習成果の発表の場など、子どもが主体となって参画できる機会を増やし</b>、早期から多様性を認め合う教育を進める。</p> <p>◆男女共同参画推進に向け、各審議会・委員構成の見直しや多様な人材確保に努めるなど、<b>指標の目標値早期達成に向けた取り組みを継続する。</b></p> <p>◆ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、学習講座で学んだ知識の共有及び実践の場を設けるなど、<b>地域社会に貢献できる人材づくりを進める。</b>あわせて、男性が育児・家事に主体的に参画する気運を醸成する取り組みを具体的に推進する。</p> <p>◆DVへの対応については、警察等関係機関との緊密な連携を図るだけでなく、<b>DV被害者となりやすい層への多角的な情報発信や的確なアプローチを行うなど</b>、引き続ききめ細かな相談体制の構築を進める。また、周知率を高める取り組みを継続するとともに、多様な媒体を活用したDV被害を容認しない意識啓発に取り組む。</p>

<b>施策13</b>	<b>生涯にわたり学習できる環境の充実</b>	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)
		関係部長(課)	教育委員会事務局次長(江東図書館)

## 1 施策目標

江東区の目指す姿									
区民が主体的に生涯学習に取り組み、習得した成果を地域に活かせる環境が整備されています。									
施策実現に関する指標(代表指標)									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合	%	9.8	7.4	7.6	7.1	10.0		20	文化観光課
指標選定理由	生涯学習への区民の参加状況を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆各文化センター等や各図書館での特色ある講座や事業展開を行っていることに加え、コロナ禍から回復する中で、個々の活動範囲も広がり、新型コロナウイルス感染拡大時と比較すると指標値の向上につながったものの、目標値への達成には及ばないことから、誰もがいつでも生涯学習に参加できる環境を整える他、生涯学習団体や講座、事業等の情報発信を行い、指標値の向上を図っていく必要がある。							
	2 (やや停滞)								
施策コストの状況									
種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト	4,202,426千円	3,799,700千円	3,561,635千円	3,388,880千円					
事業費	3,906,444千円	3,539,929千円	3,250,667千円	3,114,064千円					
人件費	295,982千円	259,771千円	310,968千円	274,816千円					
《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)									
<p>◆コロナ禍における外出自粛等を契機に、電子図書館等、ICTを活用したサービスの充実に対する需要が高くなっている。</p> <p>◆令和元年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」が施行され、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられる環境整備を一層推進する必要がある。</p> <p>◆国は令和5年6月に「第4期教育振興基本計画」を閣議決定し、生涯学習に関する基本的な方針を「地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進」とし、「生涯学び、活躍できる環境整備」「学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上」「地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進」を教育政策の目標とした。</p> <p>◆国は令和5年3月に第五次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を、都は3年3月に「第四次東京都子供読書活動推進計画」を策定する中で、小・中・高校生の不読率の改善を課題として挙げている。</p>									

## 2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1	生涯学習の促進
主な取組	学習機会の提供及び地域への還元
取組内容	◆「江東区文化観光ガイド養成講座」や「江東区文化観光ガイドフォローアップ講座」の開講のほか、深川江戸資料館の展示解説ボランティアの育成等を行うことにより、江東区の歴史や文化について学び、受講後はガイドとして地域のために活躍できる場の提供を継続していく。
主な実施事業	地域文化施設管理運営事業、生涯学習情報提供事業
取組方針2	図書館サービスの充実
主な取組	江東区立図書館経営方針に基づく図書館(11館および1分館、サービスコーナー1か所)の運営
取組内容	<p>◆電子図書館サービスを活用した時間や場所にとられない読書活動の支援を行う。</p> <p>◆図書館ホームページ、SNS、情報誌等を活用したPRを行い図書館の利用促進を図る。</p> <p>◆建物の排水管工事に伴う東大島図書館休館にあたり、臨時窓口を開設し貸出および返却手続きを行う。</p>
主な実施事業	図書館管理運営事業、図書館読書活動推進事業、学童疎開資料室運営事業

### 3 取組方針の実施状況

取組方針1	生涯学習の促進	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
<p>「生涯学習」は、学校教育や家庭教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など、様々な場や機会において行う学習であり、区民ニーズ・利用者数を踏まえた、文化センター等の事業展開を図るとともに、区内大学、NPO、民間団体、学校等とも連携しながら推進していきます。また、リカレント教育に取り組むなど、生涯学習に関する普及啓発を充実させるとともに、区民の誰もが好きな時に学ぶことができる場を創出していきます。さらに、誰もが参加できる多様な学習の場・機会の提供や生涯学習団体等の継続的な活動に対する支援を充実させ、あわせて、区民が主体的に学習、習得した成果を地域に活かす仕組みづくりに取り組みます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
学習や講座から得られた学びを地域活動や仕事に活かしている区民の数		人	285 (30年度)	311	304	268	307		370	文化観光課
指標選定理由		生涯学習における過程や活動成果を地域に生かす仕組みづくりを客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆ここ数年はコロナの影響・深川江戸資料館の改修工事により新規募集を行わなかったことで減少していたが、令和5年度より新規募集を再開し語学講座や地域理解講座を修了した受講生がボランティアとして活躍できる場を提供する取り組みを行った結果、深川江戸資料館等でボランティアガイドとして携わる人が増加している。								
	4 (順調)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		1,516,919千円	1,314,950千円	1,628,612千円	1,475,550千円					
事業費		1,487,310千円	1,289,094千円	1,610,450千円	1,460,604千円					
人件費		29,609千円	25,856千円	18,162千円	14,946千円					
成果と課題										
<p>◆主体的に学習、習得した成果を地域に活かす区民の数は着実に増えているため、今後もその機会の提供を継続していく。          ◆区民ニーズが多様化する中、引き続き講座等の内容の充実を図り、区民が主体的に学ぶ機会・場を創出していく必要がある。</p>										

取組方針2	図書館サービスの充実	主管部長(課)	教育委員会事務局次長(江東図書館)								
		関係部長(課)									
<p>中央館(江東・深川図書館)と各地域館との役割分担と連携により、開館日の増、開館時間の延長を定着させ、利用者の利用機会の拡大を図ります。また、利用者のニーズや地域特性を踏まえ、各館の特徴を活かした特色ある図書館サービスの提供に取り組むとともに、学校等教育施設や子育て・高齢者支援施設など地域資源との連携を深め、魅力的な図書館の実現と、人と情報が出会いイノベーションが生まれる地域情報拠点としての図書館機能の強化を図ります。なお、こども図書館の移転整備においては、子ども家庭支援センターとの連携による新たなサービス展開を進めるとともに、こどもたちが本の魅力や読書の楽しさに触れるきっかけづくりのため、こどもの成長段階に合わせた継続的な働きかけに取り組めます。</p>											
指標											
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課	
図書館来館者数(年間)		千人	3,289 (30年度)	2,632	2,973	3,173	3,444		3,750	江東図書館	
指標選定理由		図書館における活動の成果を客観的に示す指標であるため									
分析	達成度	◆令和4年度までは新型コロナウイルス感染症による影響が大きかったが、各図書館での特色ある事業展開などサービス計画に基づく取り組みを継続したことにより、指標の向上に繋がっている。									
	4 (順調)										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課	
図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合		%	70.6	69.9	72.7	72.1	70.3		75	江東図書館	
指標選定理由		利用者ニーズや地域特性を踏まえた学びの場づくりにかかる区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため									
分析	達成度	◆全館で実施する図書館利用者アンケートや江東区政世論調査の結果の分析等により、利用者や区民のニーズを把握し、図書館運営の改善やサービスの向上に活かす取り組みを進める。									
	*										
取組コストの状況											
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算						
トータルコスト		2,685,507千円	2,484,750千円	1,933,023千円	1,913,330千円						
事業費		2,419,134千円	2,250,835千円	1,640,217千円	1,653,460千円						
人件費		266,373千円	233,915千円	292,806千円	259,870千円						
成果と課題											
<p>◆図書館来館者数は順調に増えているが、多様化する区民のニーズに対応するため、学びの場としての機能を強化する必要がある。          ◆図書館が区民の学びの場として機能するために、電子図書館サービスなどの新たな事業を展開するなど、江東区立図書館経営方針に定める「目指すべき図書館像」の実現に向けた取り組みを着実に進めていく。</p>											

#### 4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<p>◆主体的に学習、習得した成果を地域に活かす区民の数が増加しており、様々な講座を開講し、誰もが参加できる学習の場を提供することで、生涯学習の促進が図られている。 ◆図書館は、各館で特色ある事業展開を継続して行い、サービス向上につながった。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>◆各種講座について、オンラインやICTを活用した新たな形での学習機会の提供など、区民が生涯学習に参加しやすくなるような工夫をするとともに、引き続き、生涯学習団体等の活動を支援し、区民自らが蓄積した知識を還元できる仕組みづくりを検討していく。 ◆図書館利用者のニーズの多様性を踏まえつつ、「江東区立図書館経営方針」に基づき、新たな取り組みを着実に進めながらサービスの向上を図っていく。</p>

#### 5 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<p>◆指標については現状値から低下している指標もあるが、施策の進捗状況は概ね順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
<p>実現に向けた取り組み</p>	<p>◆生涯学習の促進について、社会状況の変化を捉え、ニーズの把握や、成果の測定方法を明確にし、区民が主体的に学習、習熟した成果を地域に活かす仕組みづくりを進める。 ◆図書館においては、「江東区立図書館経営方針」及び「こども読書活動推進計画」の改定に合わせて、地域特性など各館の特色を活かした一体的なサービスの提供を行うとともに、電子図書館の更なるサービス向上や区民ニーズ等の分析を踏まえた改善について検討する。 ◆各種講座についてオンラインと対面のハイブリッドで実施するなどICTのより一層の活用を進めることで受講者の利便性を確保し、生涯学習への区民の参加を増やすよう努める。</p>

<b>施策14</b>	<b>スポーツを楽しめる環境の充実</b>	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)
		関係部長(課)	総務部長(総務課)

## 1 施策目標

<b>江東区の目指す姿</b>									
こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、身近にスポーツを楽しめる機会と環境が確保され、スポーツの持つ力により、誰もが生き生きと暮らせる地域社会が形成されています。									
<b>施策実現に関する指標(代表指標)</b>									
<b>指標名</b>	<b>単位</b>	<b>現状値 (元年度)</b>	<b>2年度</b>	<b>3年度</b>	<b>4年度</b>	<b>5年度</b>	<b>6年度</b>	<b>目標値 (6年度)</b>	<b>指標担当課</b>
週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合	%	45.1	59.0	58.8	61.5	62.0		65	スポーツ振興課
<b>指標選定理由</b>	区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを客観的に示す指標であるため								
<b>分析</b>	<b>達成度</b>	◆5年度は新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、スポーツ活動の回復基調が続いていることから、スポーツ実施率が増加したと考えられる。 ◆区民アンケート調査結果によると、「週1回以上」の割合は、男性の方が女性より高くなっている。							
	<b>4 (順調)</b>								
<b>施策コストの状況</b>									
<b>種別</b>	<b>5年度予算</b>	<b>5年度決算</b>	<b>6年度予算</b>	<b>7年度予算</b>					
トータルコスト	2,795,111千円	2,401,011千円	3,640,406千円	5,835,541千円					
事業費	2,674,617千円	2,295,890千円	3,515,575千円	5,694,585千円					
人件費	120,494千円	105,121千円	124,831千円	140,956千円					
<b>《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)</b>									
◆令和4年3月、国は第3期「スポーツ基本計画」を策定し、今後、成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%(障害者は40%)になることを目指すこととしている。									
◆令和4年1月、都は「TOKYOスポーツレガシービジョン」を策定し、東京2020大会で得た成果を今後のスポーツ振興に活かすため、都立スポーツ施設の戦略的活用やパラスポーツの振興などを掲げている。									
◆世界陸上競技選手権大会・デフリンピックが2025年に東京で開催されることに伴い、都は令和5年2月に、東京都が目指す姿を「ビジョン2025 スポーツが広げる新しいフィールド」にまとめ、「全ての人が輝くインクルーシブな街・東京」の実現を目指している。									
◆現行の「東京都スポーツ推進総合計画」の計画期間終了に伴い、都は令和7年3月に同計画を改定(令和7年度～12年度)する予定である。									

## 2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

<b>取組方針1</b>	<b>区民のスポーツ活動の促進</b>
<b>主な取組</b>	気軽にスポーツに取り組める機会の創出
<b>取組内容</b>	◆ファミリースポーツチャレンジやシーサイドマラソン大会等のスポーツイベントの一層の充実を図り、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツを通じた交流の促進に取り組む。 ◆6年度は、国の第3期スポーツ基本計画や都が6年度に改定予定の東京都スポーツ推進総合計画との整合を図りながら、江東区スポーツ推進計画の改定を行う。
<b>主な実施事業</b>	区民スポーツ普及振興事業、江東シーサイドマラソン事業、スポーツ推進委員活動事業
<b>取組方針2</b>	<b>スポーツのしやすい環境の整備</b>
<b>主な取組</b>	安心して利用しやすい施設整備・改修
<b>取組内容</b>	◆老朽化が著しいスポーツ施設の改修を最優先に進めるとともに、設備の充実や利便性の向上を図ることで、誰もがスポーツに取り組みやすく、楽しむことができる環境の提供に取り組む。 ◆改修時期を迎える施設においては、バリアフリーの視点を取り入れ、障害者や高齢者も利用しやすい施設への改修を図る。
<b>主な実施事業</b>	スポーツ施設管理運営事業、少年運動広場維持管理事業

### 3 取組方針の実施状況

取組方針1	区民のスポーツ活動の促進	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)							
		関係部長(課)	総務部長(総務課)							
<p>スポーツには、健康維持や体力増進だけでなく、心の健康や人間的な成長を促すことで相手を尊重し思いやる精神が育まれるなど、大きな効果が期待できることから、こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、区民が主体的にスポーツに取り組み、継続して活動できるよう、スポーツイベントの開催や教室事業を実施するなど、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツ団体の育成、相互交流等の支援を充実させます。また、ソフト面におけるオリンピック・パラリンピックのレガシーを活用し、区民のスポーツに対する意識向上を図るとともに、関係団体が蓄積した知識・技能・経験を活かし、区民のスポーツ活動の促進に取り組みます。</p>										
<b>指標</b>										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
体育協会加盟団体・社会教育関係団体の登録団体数		団体	668 (30年度)	625	581	631	677		681	スポーツ振興課
指標選定理由		スポーツ活動の促進に対する区の取り組み状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆コロナ禍の収束により、学校体育館などを利用するスポーツサークルの活動が活発化し、社会教育関係団体の新規登録数の増加につながったと思われる。								
	4 (順調)									
<b>取組コストの状況</b>										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		118,334千円	102,205千円	156,278千円	181,475千円					
事業費		67,342千円	57,871千円	89,612千円	88,942千円					
人件費		50,992千円	44,334千円	66,666千円	92,533千円					
<b>成果と課題</b>										
<p>◆5年度は、ファミリースポーツチャレンジや区民まつり(2日目)は雨天中止となったものの、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどと連携し、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組んだ。</p> <p>◆今後開催されるパラリンピックやデフリンピックの機運を捉え、パラスポーツの体験型イベントの開催等により、引き続きパラスポーツに対する理解の醸成と普及振興に取り組む。</p>										

取組方針2	スポーツのしやすい環境の整備	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)							
		関係部長(課)								
<p>スポーツをすること、観ることを通じて、人と人との絆が深まり、地域コミュニティの活性化など地域活力の向上につながる効果が期待できることから、区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上を図り、誰もがスポーツに取り組み楽しむことができる環境を整備します。また、都立や民間のスポーツ施設との役割分担を整理するとともに連携を図ります。さらに、オリンピック・パラリンピックの競技施設を活用し、スポーツのしやすい環境の整備に取り組みます。</p>										
<b>指標</b>										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
区立スポーツ施設の利用者数		人	2,424,000 (30年度)	960,000	1,086,000	1,496,000	1,767,000		2,550,000	スポーツ振興課
指標選定理由		区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上など、スポーツのしやすい環境の整備に向けた区の取り組みに対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆夢の島競技場の改修工事の影響を受けたものの、コロナ禍の収束に伴い、区立スポーツ施設の利用者数は回復してきている。								
	*	◆依然コロナ禍前の水準まで戻っていないが、引き続き区立スポーツ施設の改修や設備の充実、利用者アンケートに基づく利便性やサービス向上などの取り組みにより、指標の向上を目指していく。								
<b>取組コストの状況</b>										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		2,676,777千円	2,298,806千円	3,484,128千円	5,654,066千円					
事業費		2,607,275千円	2,238,019千円	3,425,963千円	5,605,643千円					
人件費		69,502千円	60,787千円	58,165千円	48,423千円					
<b>成果と課題</b>										
<p>◆引き続き区立スポーツ施設の計画的な改修等により、誰もがスポーツのしやすい環境を整備していく。</p> <p>◆4年度にオープンした夢の島スケートボードパークの安定的運営に取り組むとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場となった海の森水上競技場や6年10月に全面開業する有明アーバンスポーツパークなどのレガシー施設と連携し、スポーツ環境のさらなる充実を図る。</p>										

#### 4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<p>◆新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだスポーツマインドの回復に資するよう、様々なスポーツ団体とも連携し、スポーツに触れる機会の提供に取り組んだ。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>◆パリ2024大会及び2025年に東京で開催されるデフリンピック、世界陸上などの機運を捉えて東京2020大会の開催で高まったスポーツへの関心をさらに高めていけるよう取り組む。 ◆6年度のスポーツ推進計画の改定にあたっては、新たに障害者アンケートを実施しニーズ把握に努めるなど、パラスポーツのさらなる推進の視点も盛り込んでいく。</p>

#### 5 二次評価《区の最終評価》 ※4年度外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<p>◆指標については現状値から低下している指標もあるが、施策全体としては近年順調に推移しており、施策進捗状況は概ね順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
<p>実現に向けた取り組み</p>	<p>◆スポーツイベント等の実施について工夫を凝らしながらスポーツに親しめる機会を提供する。また、アンケートの工夫などにより、ニーズや参加を妨げている事由の把握につとめるとともに、<b>年齢や性別などにより異なるニーズを分析し、区民全体のスポーツ実施率の向上に努める。</b></p> <p>◆「スポーツ推進計画」の改定にあたり、パラスポーツのさらなる推進の視点も盛り込みながら、パラリンピックレガシーの活用等により、障害者スポーツの理解を広め、障害者がスポーツに取り組みやすい環境整備を引き続き進める。</p> <p>◆<b>民間施設との連携やオリンピックレガシーを活用した取り組みについてより広く区民に伝わるよう努め、「水彩都市・江東」として豊かな水辺環境を生かしたスポーツを推進する。</b></p>

<b>施策15</b>	<b>文化・歴史の継承と観光振興</b>	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)
		関係部長(課)	

## 1 施策目標

<b>江東区の目指す姿</b>									
歴史や伝統・芸術文化などが次世代に継承されるとともに、身近に親しめる機会が確保されています。また、情報発信を強化するとともに、魅力的な観光資源を発掘・開発することで、区内外から多くの観光客が訪れるまちが実現しています。									
<b>施策実現に関する指標(代表指標)</b>									
<b>指標名</b>	<b>単位</b>	<b>現況値 (元年度)</b>	<b>2年度</b>	<b>3年度</b>	<b>4年度</b>	<b>5年度</b>	<b>6年度</b>	<b>目標値 (6年度)</b>	<b>指標担当課</b>
江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合	%	74.2	74.0	75.8	71.3	68.9		80	文化観光課
<b>指標選定理由</b>	魅力的な観光資源の発掘・開発を推進するなど、区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため								
<b>分析</b>	<b>達成度</b>	◆まちなかにある既存の観光資源が、SNS等ソーシャルメディアの普及により掘り起こされ、地域の魅力の再発見に繋がっている。今後は、豊洲千客万来や移築が完了した旧渋沢家住宅の一般公開を契機とした観光施策の推進、並びに、区の魅力的な観光資源である河川や運河を活用した観光施策の充実など、その魅力を多様な媒体を通して国内外に広く発信していく必要がある。							
	<b>*</b>								
<b>施策コストの状況</b>									
<b>種別</b>	<b>5年度予算</b>	<b>5年度決算</b>	<b>6年度予算</b>	<b>7年度予算</b>					
トータルコスト	1,169,246千円	1,008,632千円	1,343,659千円	7,230,693千円					
事業費	1,101,513千円	950,220千円	1,257,671千円	7,134,048千円					
人件費	67,733千円	58,412千円	85,988千円	96,645千円					
<b>《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)</b>									
◆国は平成29年に改正された「文化芸術基本法」に基づき、文化芸術推進基本計画を策定。令和4年度までの第1期計画に続き、第2期計画を令和5年3月24日に閣議決定した。計画期間中は、心豊かで活力ある社会を形成するため「文化芸術と経済の好循環」を実現すべく7つの重点取組を推進するとしている。									
◆都はPRIME観光都市・東京「東京都観光産業振興実行プラン 2024-2026」を策定した。新型コロナウイルスによる水際対策が終了し、訪日外国人旅行者数が回復するなど、新たなフェーズにおける施策が求められていることや観光を巡る動向の変化等を踏まえ、観光施策の再構築を行い、国際競争力を強化した世界最高の「PRIME観光都市・東京」の実現を目指すとしている。									

## 2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

<b>取組方針1</b>	<b>伝統文化の保存と継承</b>
<b>主な取組</b>	文化財の保護及び地域への文化財の周知・普及の推進
<b>取組内容</b>	◆地域に残された文化遺産を調査し、文化財として保護していくとともに、区民まつりにおける民俗芸能大会や伝統工芸展の開催を通じて、区に残る文化財の周知・普及を図る。 ◆移築復原が完了した「旧渋沢家住宅」の一般公開等、文化財の保存活用を図るとともに歴史文化施設三館の情報発信力を高めるため、デジタル技術等の活用を図る。
<b>主な実施事業</b>	文化財保護事業、文化財公開事業、歴史文化施設管理運営事業
<b>取組方針2</b>	<b>芸術・文化活動の支援</b>
<b>主な取組</b>	発表活動の支援と次世代育成
<b>取組内容</b>	◆これまでに引き続き、芸術提携を結ぶバレエ団及び管弦楽団が区内の小中学校へのアウトリーチを実施。今年度は、訪問する校数を増やして実施する。 ◆優れた音響効果とピアノを擁する豊洲シビックセンター大ホールを活用し、区内を拠点に活動する若手の演奏家に公演の場を提供する新規事業を展開する。
<b>主な実施事業</b>	江東公会堂管理運営事業、地域文化施設管理運営事業
<b>取組方針3</b>	<b>地域資源を活用した観光振興</b>
<b>主な取組</b>	魅力的な観光資源の発掘ならびに周知の推進
<b>取組内容</b>	◆区内観光スポットを周遊する「周遊・謎解きイベント」の実施や、豊洲千客万来の開業に伴い、観光協会や関係部署と連携しながら国内外の観光客を誘客するための観光施策を引き続き着実に進めていく。また、区の多様な観光資源の発掘や豊かな水辺環境の活用など、その魅力を様々な媒体を通して国内外に広く発信していく。さらに、令和2年度に終了した「観光推進プラン」を新たに策定するため、観光課題の調査・分析を行っていく。
<b>主な実施事業</b>	観光推進事業、観光イベント事業、江東区観光協会運営補助事業

### 3 取組方針の実施状況

取組方針1	伝統文化の保存と継承	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
文化財保護推進協力員と協働し、江戸時代以降に花開いた伝統文化や文化財を保護するとともに、講習会・講演会の開催等区内外へのPR や小中学校との連携などにより、区と区民が一体となって伝統文化の継承及び後継者の育成に取り組みます。また、伝統文化保存団体の活動の支援と、伝統文化を披露する場の充実により、区民が伝統文化に親しめる環境を整備します。さらに、芭蕉記念館、深川江戸資料館、中川船番所資料館については、施設の魅力を高めるために資料の充実や展示方法の工夫、多言語化等の取り組みを進めます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
伝統文化公開事業の延べ参加者数		人	9,247 (30年度)	5,565	5,773	8,070	8,418		12,000	文化観光課
指標選定理由		伝統文化に親しめる環境の整備など、区の取り組みに対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆4年度以降は、イベントを中止することなく開催するなど、伝統文化に親しめる機会の提供ができていることから参加者数が大幅に増加しているが、コロナ禍前の水準には達していない。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		410,709千円	344,672千円	410,326千円		450,113千円				
事業費		380,732千円	318,932千円	383,581千円		420,172千円				
人件費		29,977千円	25,740千円	26,745千円		29,941千円				
成果と課題										
◆少子高齢化等の社会状況の変化を背景に無形文化財や伝統芸能において、後継者育成や適切な専門的人材の確保などが困難になっており、課題となっている。										
◆コロナ禍からの回復に伴い、イベントへの参加者数は増加したが、有形・無形の文化財を観光に生かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域社会全体で取り組んでいくことのできる体制づくりを整備することが必要となっている。										
◆急速に進化するデジタル技術について、文化財の分野に取り入れながら、有効に活用することが求められている。										

取組方針2	芸術・文化活動の支援	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
芸術文化団体の活動を支援するとともに、江東公会堂や地域の文化センターなどを活用し、区民ニーズに合った芸術文化事業を企画、誘致します。また、プロによるアマチュア指導の機会を設けるなど、次世代の芸術の担い手を育成していくとともに、区民が自然に芸術文化活動に親しめる様々なきっかけづくりに取り組みます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東区文化施設における発表活動の実施件数		回	377 (30年度)	156	215	229	291		420	文化観光課
指標選定理由		芸術文化活動に親しめる環境の整備など、区の取り組みに対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆コロナ禍からの回復に伴い、展示ロビーでの発表活動や街かどアーティストを派遣する事業の活動数が伸び始めているが、コロナ禍前の水準には達していない。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		467,397千円	391,906千円	569,972千円		6,427,024千円				
事業費		459,526千円	385,003千円	549,492千円		6,413,006千円				
人件費		7,871千円	6,903千円	20,480千円		14,018千円				
成果と課題										
◆5年度は、コロナ禍で希薄となった地域コミュニティの活性化により一層注力し、各文化施設で地域のネットワークを活用した新規事業や事業の拡大に取り組んだことで、実績も上昇した。地域の文化センター・江東公会堂のスペースや設備を活用した事業を充実させ、区民が芸術文化活動に親しみやすい環境づくりを着実に進めていくことが課題である。										
◆区も、多様化する社会課題や区民ニーズを反映させた事業展開を図り、「アウトリーチ・コンサート」等の区民が芸術文化を身近に感じられるような施策が求められている。										

取組方針3	地域資源を活用した観光振興	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)							
		関係部長(課)								
<p>歴史・文化、水辺、スポーツ、食、アート、商店街、人といった本区の持つ魅力を活かしながら、江東区観光協会を中心に官民連携の下、新たな観光資源の開発に取り組みます。また、本区の各エリアが持つ特徴的な観光資源を多様な媒体を活用して国内外に広く発信するとともに、観光キャラクターの活用など様々な手法で誘客を図ります。さらに、豊洲市場や千客万来施設、東京2020大会のレガシーなど新たな観光資源との連携や、観光人材の養成・活用により、国内外の観光客に対するおもてなしの強化を図るとともに、近隣自治体等と連携した効率的・効果的な観光振興を進めます。</p>										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
観光ガイドの案内者数		人	4,988 (30年度)	718	1,265	2,046	2,088		6,000	文化観光課
指標選定理由		観光人材の活用により、効率的・効果的な観光振興に対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆江東区文化観光ガイドを活用したガイドの案内者数は増加しているものの、コロナ禍以降ガイド事業を中止した団体が複数あることから、観光ガイドの案内者数が伸び悩んでいる。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		291,140千円	272,054千円	363,361千円	353,556千円					
事業費		261,255千円	246,285千円	324,598千円	300,870千円					
人件費		29,885千円	25,769千円	38,763千円	52,686千円					
成果と課題										
<p>◆観光PRイベントの出展等を通じ、観光振興を推し進めることができた。近隣自治体等と連携して実施したイベントも多く、効率的かつ効果的な取り組みができています。</p> <p>◆「水彩都市・江東」を象徴する河川や運河を活用した観光施策が課題となっている。その特長的な観光資源を活用した観光施策に取り組むとともに、新たな観光資源の発掘・開発を進め、本区の魅力を広く発信していく。</p> <p>◆インバウンドが復調してきており、令和6年2月に開業した豊洲千客万来にも多くの国内外の観光客が来訪している。区では観光案内所を設置し、観光スポット等の案内を行っているが、今後も観光協会や関係部署と連携しながら国内外の観光客を誘客するための観光施策を着実に進めていく。</p>										

#### 4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆コロナ禍からの回復に伴い、事業内容に工夫を凝らし、伝統文化の継承や芸術文化の推進、そして観光施策に向けた取り組みを着実に実施することができた。
今後の方向性	<p>◆本区の強みを活かした、質の高い伝統・芸術文化に触れる・参加する機会を提供するほか、その価値や取り組みについて、区民へのPRに努めるとともに、デジタル技術等も活用しながら区内外への情報発信をさらに進めていく。</p> <p>◆江東区の今後の観光施策を効果的に推進していくにあたり、令和2年度に終了した「観光推進プラン」を新たに策定するための準備を進めていく。</p>

#### 5 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	<p>◆指標については、イベント開催等がコロナ禍前と同程度に実施されてはいるものの、計画策定時の現状値から低下している。</p> <p>◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
実現に向けた取り組み	<p>◆文化財や伝統文化について知らない南部の新住民を対象に歴史や文化の普及啓発を行うなど、文化財保護推進協力員との協働や小中学校との連携等により、広く区民が伝統文化に親しめる環境を整備する。</p> <p>◆引き続き、新たな観光資源の開発に引き続き取り組むとともに、それらの資源の観光振興への結びつけについて、近隣自治体と連携しながら戦略を立て、区内外から多くの観光客が訪れる魅力あるまちの実現を図る。</p> <p>◆「水彩都市・江東」を象徴する河川や運河を活用し、水辺の魅力を多様な媒体を通して国内外に広く発信していくとともに、舟運の観光への活用を検討する。</p> <p>◆江東区の今後の観光施策を効果的に推進していくため、「観光推進プラン」を改定する。</p>